

TOTO

施工説明書


開閉ユニット TH577型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1 安全上の注意



取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

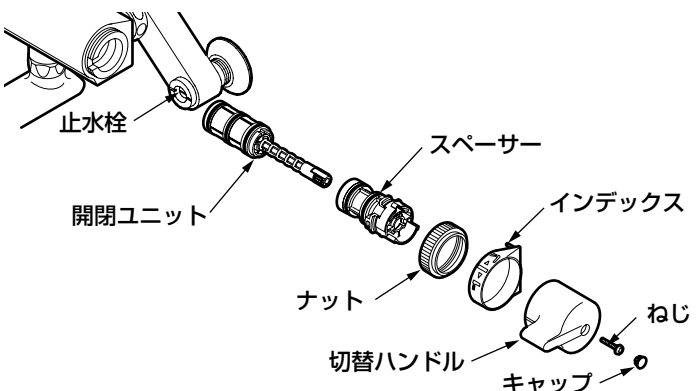
表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	ⓘ は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 注意	
 分解禁止	開閉ユニットは絶対に分解しない 特殊組立をしておりますので破損します。
 必ず実行	開閉ユニットを取り外す際は必ず止水栓または元栓を閉めてから行う 湯水が噴き出して、やけどや家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

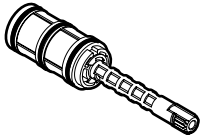

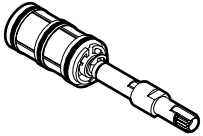

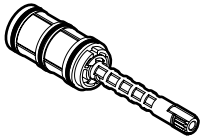

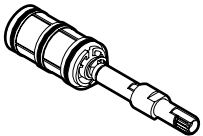

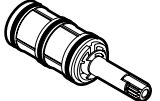

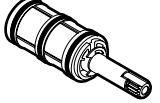
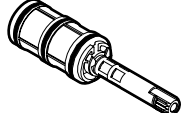
2 分解図



※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

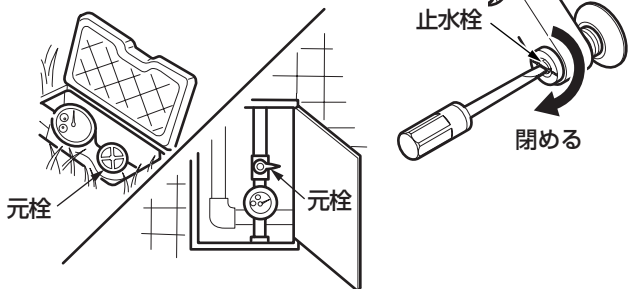
3 対象商品

開閉ユニットは開閉ユニット品番により使用する水栓が違います。
お取り付けの前にもう一度、開閉ユニット品番と対象商品品番をお確かめください。

開閉ユニット品番	対象商品品番	同梱部品	
		切替ハンドル	開閉ユニット
TH577	TMG40型、TMHG40型、TMF40CQX・DQX、TMF40WQX、TMJ40CRX、TMJ46CRX ほか	同梱されていません ワンタッチ式	
TH577-1	TMJ40型、TMJ46C、TMJ46M、TMJ46R ほか ※TMJ46型で樹脂カパータイプには取り付けできません。	 ワンタッチ式	
TH577-2	TMF40型 ほか	 ビス止め式	
TH577-3	TL391AGEX・AEX・AX・AGX ほか	 ワンタッチ式	
TH577-4	TMJ47型、TMJ48型 ほか	 ワンタッチ式	 定量止水機能付水栓用
TH577-5	TMF47C型 ほか ※TMF49型は同梱のハンドルは使用しません。	 ビス止め式	 定量止水機能付水栓用
TH577-6	TMA46型、TMG46C2・C3型 ほか (樹脂カパータイプ)	同梱されていません ワンタッチ式	

1 旧ユニットの取り外し

① 止水栓(湯側・水側)または元栓を閉める。



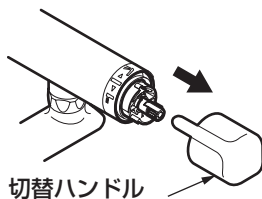
② 切替ハンドルを「止」の位置で取り外す。

注意

ハンドルは必ず「止」の位置で外してください。他の位置で外すと、クリック板ばねが破損することがあります。

ワンタッチ式

切替ハンドルが回らないように注意して抜き取ってください。



<アーチハンドルの場合>

切替ハンドルが回らないように注意して抜き取り、板ばね押さえを取り外してください。

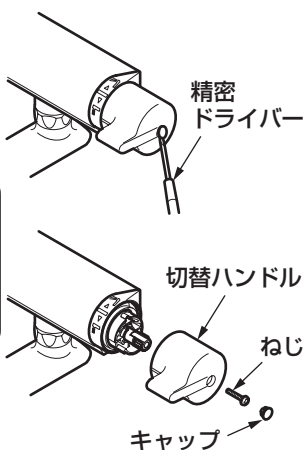


ビス止め式

切替ハンドルが回らないように注意してキャップ・ねじを外してハンドルを抜き取ってください。

豆知識

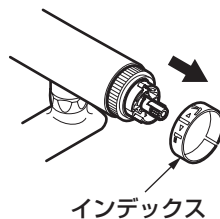
キャップは精密ドライバーなどの先の細いものを使用し、めっき表面を傷つけないように注意しながら外してください。



③ インデックスを取り外す。

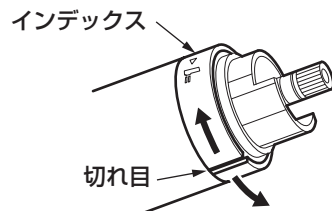
<TMA・TMG・TMJ型の場合>

インデックスは本体下側または後下側に切れ目が入っています。切れ目の部分から広げるようにして取り外してください。



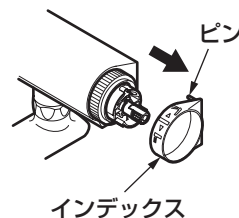
注意

インデックスは広げ過ぎると割れることがありますので、注意してください。



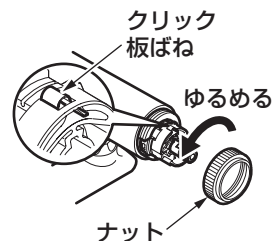
<TMF・TL型の場合>

取外しの際はピンを折らないように注意してください。



④ ナットを取り外す。

※手でゆるまない場合は、ゴム手袋やプライヤーなどの工具を使ってゆるめてください。また、工具掛かりのあるナットはスパナなどの工具を使ってゆるめてください。



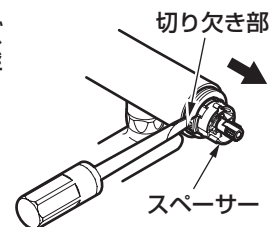
注意

● ナットを外すときは、クリック板ばねに当たらないようにナットを外してください。

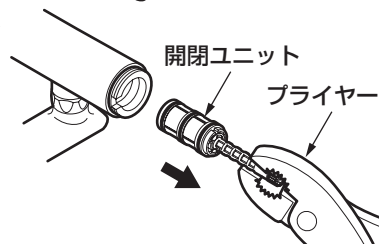
● クリック板ばねは外さないでください。

※クリック板ばねはシャワー・スパウト切替タイプにのみ付いています。

⑤ 切り欠き部にマイナスドライバーを差し込み、スペーサーを浮かせて取り外す。



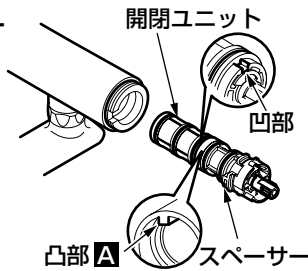
⑥ 開閉ユニットをプライヤーなどで引っ張り、取り外す。



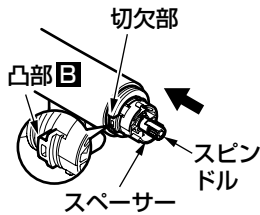
裏面へつづく

2 新ユニットの取り付け

①開閉ユニットの凹部とスペーサーの凸部 **A** を合わせる。



②スペーサーの凸部 **B** を本体の切り欠き部に合わせて組み込む。

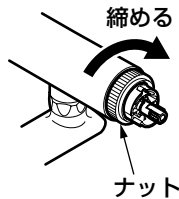


注意

スペーサーと開閉ユニットが離れないように、スピンドルをつまんでスペーサーを押して確実に組み込んでください。

③ナットを締め付ける。

ナットは手で確実に締め付けてください。
※工具掛かりのあるナットはスパナなどの工具を使って締め付けてください。

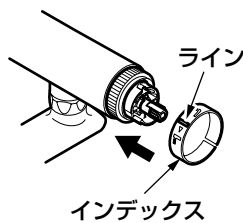


④インデックスを取り付ける。

<TMA・TMG・TMJ型の場合>

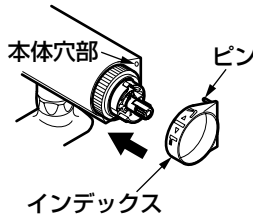
ラインが正面になるようにインデックスを取り付け、インデックスを軽く回して位置合わせをしてください。

※インデックスと本体の凹凸がかみ合うと、インデックスは固定され動かなくなります。

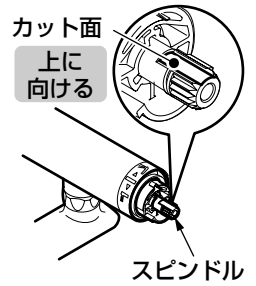


<TMF・TL型の場合>

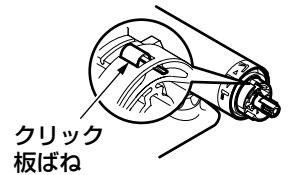
ピンを本体にある穴に合わせて差し込んでください。



⑤スピンドルのカット面を上に向ける。



⑥<シャワー・スパウト切替タイプの場合> クリック板ばねが付いていることを確認する。



⑦切替ハンドルを取り付ける。

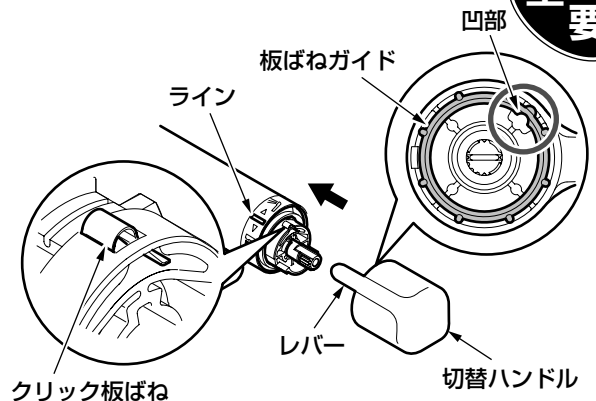
注意

切替ハンドルが同梱されている場合は、必ず同梱のハンドルに交換してください。

シャワー・スパウト切替タイプの注意点

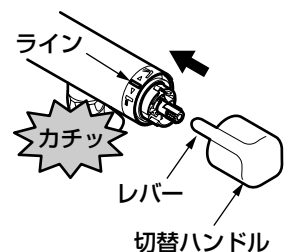
ハンドルは、必ずクリック板ばねと板ばねガイドの凹部を合わせた位置で取り付けてください。他の位置で取り付けると、クリック板ばねが破損することがあります。

重要



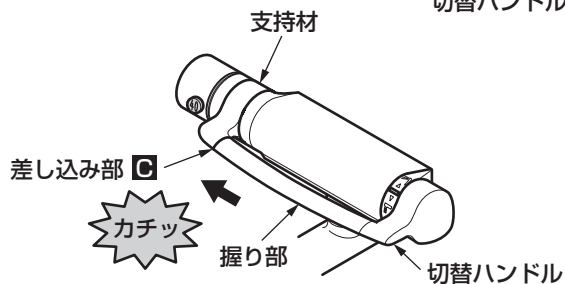
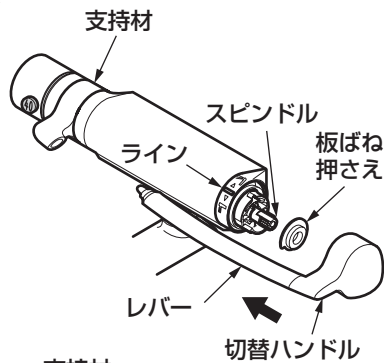
ワンタッチ式

レバーをインデックスのラインに合わせて"カチッ"と音がするまで押し込んでください。



<アーチハンドルの場合>

板ばね押さえをスピンドルに取り付け、レバーをインデックスのラインに合わせて"カチッ"と音がするまで押し込んでください。

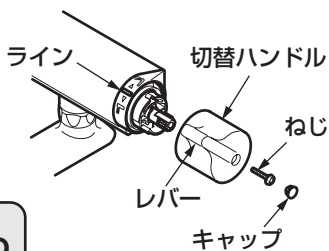


注意

握り部と支持材の差し込み部 **C** がずれないように注意してください。
 差し込み部 **C** が正しくはめ合わされていない状態で無理に押し込むと、支持材が壊れる場合があります。

ビス止め式

レバーをインデックスのラインに合わせてはめ込み、ねじで固定してキャップを取り付けてください。



注意

ハンドルは必ず同梱のものを使用してください。

⑧ 止水栓(湯側・水側)または元栓を開け、スパウトから水が出るか確認する。



重要

注意

切替ハンドル部から水漏れがないか確認してください。

